

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046

山口市本町1-1-25

白石地域交流センター内

TEL 083-941-5959

FAX 083-941-5966

<http://www.y-shiraishi.net/>

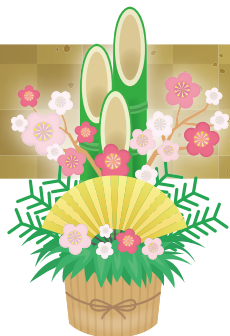
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



頌春

2017年1月1日号 Vol.43

鴻の峯展望台から望む日の出(撮影/吉村哲明)



夢



会長 吉村 哲明

白石地区にお住いの皆さん、あけましておめでとうございます。新しい年を迎えられ、「去年は目標も達成出来、充実した1年だった」「今年新しい目標に向かって頑張ろう」「昨年達成できなかった目標を今年こそは達成したい」「今年あまりバタバタしないで、のんびりしたい」「旅行や新しい趣味を頑張りたい」など、いろいろな思いや、夢をお持ちのことと思います。

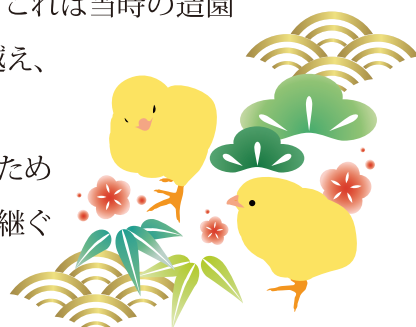
私は今年80歳になりますが、お陰様で今のところ、とても健康です。そんな私に対して、周りの家族はロードバイクに乗るのは辞めたら?運転免許証はいつ返納するの?何歳になったら山登りなど危険なことをやめる?など、日々色々な心配をしてくれます。有り難い反面、正直なところおせっかいだと思っています。私は中学3年生の時に、「自分の生き方は自分で決める。人の意見で変えない。」と心に決めてから全てのことを他人に相談することなく自分で決めてきました。しかし、72歳で現役を退いたのを機に、自分勝手に生きて来て、地域との関わりも他人任せであったエゴの塊のような人生と決別し、地域に恩返しをしよう。少しでも役に立つのなら、地域に関わって行こうと気持ちを切り替え、平成21年度から28年度まで、地域の皆様に助けて頂きながら、地域に関わって参りました。

前触れが長くなりましたが、本題の夢の話に入りたいと思います。東京山手線原宿駅の裏手に大きな森、『明治神宮』があるのをご存知でしょう。先日NHKの番組で、平成26年1月2日にNHKスペシャルで放送された『明治神宮不思議の森』の再放送がありました。

1912年、明治天皇が崩御され神社を創建することになり、1913年に、神社奉祀調査会が設立されました。1914年、東京の代々木御料地に明治神宮を造営することを決定し、1915年、当時の著名な造園家を集めて「明治神宮造園局」が設立され、鎮守の杜をつくることとなり、本多、本郷、上原の3名が中心となり、鎮守の杜ならば、天然更新する「永遠の森」を夢に、100年後の姿を描きながら荒野を自然豊かな、永遠の森にする計画を進めていました。

当時の首相、大隈重信は、明治神宮の森も「伊勢神宮や日光東照宮のような荘厳な杉林に」と反対しましたが、本多ら造園家は、鎮守の杜は人の手を借りなくても永遠に続く、天然更新する森でなければ、と主張し、広葉樹木の混合林を造成して、100年間人の手を加えない、現在の神宮の森が完成しました。これは当時の造園家の人々が100年先の姿を思い描き、その夢を実現するために、幾多の困難を乗り越え、次の世代に引き継ぐための仕組みを考え構築した素晴らしい成果だと思います。

振り返って、今、この白石地区の100年後の姿を描き、夢として次の世代に引き継ぐための仕組みが出来ているでしょうか、私たちは、100年先の夢を育み、次の世代に引き継ぐための活動を、今、始めなければと思います。さあ、皆さん今から始めましょう。



第32回 奇兵隊3代目総管 赤禰武人⑤ ～長州藩の危機～

栄光を手に

文久3年(1863)9月、奇兵隊は、先に起こった教法寺事件をきっかけに、下関から秋穂二島(山口市)に移陣。その後、三田尻(防府市)へと移りますが、総督であった高杉晋作は、多難な政局に役立つ人材として、藩政に専念するために、総督の職を退くことになります。そして、これより総督は総管と呼ばれるようになり、河上弥市と滝弥太郎が務めることになります。しかし、10月に入ると、弥市は当時京都から長州藩へと身を投じていた七卿のひとり沢宣嘉と若干の奇兵隊士とともに三田尻を脱走、但馬国生野(現・兵庫県朝来市)で挙兵します。また、もうひとりの総管であった弥太郎も、他の職を命じられたため、武人が3代目の総管に就くことになりました。こうして、瀬戸内海の小さな島で医者の子として生まれた彼は、奇兵隊のトップに上り詰めたのでした。

奮戦

元治元年(1864)は長州藩にとって苦難の年でした。この年6月、京都で起こった「池田屋事件」をきっかけに、長州藩の志士たちは藩主の命を待たずに次々に上

京。それが、やがて「禁門の変」へと発展します。この時、長州藩は、薩摩・会津藩を中心とした諸軍勢に対し敗北。また御所へ向けて砲撃したため、朝敵とされ、朝廷は幕府に対し長州征討を命じ、幕府は諸藩に対し出兵命令を下します。そして、同年8月、イギリス・フランス・オランダ・アメリカの4カ国連合艦隊が下関の砲台へ報復攻撃を開始。この時、武人は前田砲台で奮戦しましたが、連合艦隊の兵力を前に、各砲台はことごとく沈黙させられ、ここでも長州藩は敗北を喫したのでした。

この時の戦闘の様子は、奇兵隊日記には記載されていません。しかし、下関の豪商で、奇兵隊士でもあった白石正一郎の日記には、「総管赤根(禰)ふみとどまり」などと、前田砲台で奮戦する武人の様子が記されています。また、当時、連合艦隊の通訳を務めていたアーネスト・サトウの記録には、長州藩の砲台の中で、最も激しく抵抗してきたのは前田砲台であったと記されていました。



前田砲台跡にたたずむ(下関市)

防災訓練のための「まちあるき・作戦会議」が開催されました

平成29年1月22日(日)に実施される発災実動訓練にむけて、NPO「ぼうぼうネット」の山崎隆弘氏を講師にお招きして、平成28年12月11日(日)に、現地踏査が行われました。



歩いて現地を確認しました

発災実動訓練実施のお知らせ
平成29年1月22日(日)9:00～
中讃井、西門前・新橋、荒高町内会が合同で、直下型地震を想定しての発災実動訓練を実施します。ご理解・ご協力をお願いします。

男性料理教室の参加者を募集します! 男性の方ならどなたでも!

日時:平成29年1月28日(土) 10:00～
場所:白石地域交流センター 調理実習室(2階)
参加費:200円(当日ご持参ください)
持参品:エプロン、三角巾(バンダナ)、上履き
定員:20名 / 申込締切:1月23日(月)
※定員になり次第締め切ります。
申込先:白石地域交流センター(TEL 922-0381)
白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)



明治維新150年記念講演のお知らせ「吉田松陰～至誠を貫いたその生涯～」

まつまえりょうじ
松前了嗣氏を講師にお招きし、講演会を開催します。
日時:平成29年2月11日(土・祝)
場所:白石地域交流センター 2階講堂
申込:白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)
白石地域交流センター(TEL 922-0381)



参加無料 学生さんも大歓迎!

【お詫び】平成28年12月15日号「車座トークin白石」の記事内において、議事進行役の兵庫氏の役職に誤りがありました。正しくは(誤)会長→(正)副会長でした。訂正するとともにお詫びいたします。